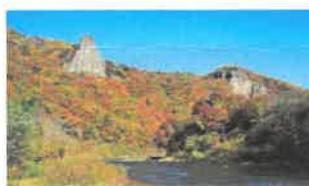


5月の総会で、二戸市観光協会会长の大役を仰せつかった。なぜ石屋の社長が観光協会の会長なのか…私を押してくれた方々は「地域おこし」についての評価ではないかと勝手に考えている。30歳から仕事もそっちのけで「カシオペアアカデミー」という会の活動を13年ぐらい続けた。よく外部の方より「カシオペア」ってなに?と聞かれるが、二戸市を中心に浄法寺町(今は合併)一戸町、九戸村、軽米町の県北と呼ばれる5市町村の役場所在地を線で結ぶと、「W」の形になることから平成3年に県北のイメージを明るく爽やかなものにしていこうと「カシオペア連邦」が建国された。「劇団カシオペア座」をはじめ様々なイベントを継続的に行ったその結果、地域では「カシオペア○○」のような名称が増え、今では二戸地域の愛称として「カシオペア」はすっかり定着した。今二戸地域は人口減、少子高齢化などの課題に直面しているが、「カシオペア」の各町の良さを集め魅力を創っていくらうと思う。折爪岳のヒメ堂、男神女神の馬仙峠、座敷童の金田一温泉、寂聴さんの天台寺、一戸の御所野縄文遺跡公園、軽米のフォリストパーク、浄法寺漆、ほか美味しい食べ物や、特徴あるフルーツもたくさんある。

「ますます忙しくなりますね」とよく声をかけられますが、これでも本人いたってマイペースなのです。お役にたてるよう頑張っていきたいと思います。
よろしくお願ひいたします。



日本橋界隈逍遙

「智恵子は東京に空がないといふ」有名な智恵子抄の一節である。日本の道路原標があり、国指定の重要文化財である天下の日本橋には確かに空がなかった。

橋の中央に立ち、見上げると首都高の鉄桁が覆いかぶさっている。下を見ると水中に根を張った頼もしい鉄柱。よくぞこの狭い敷地にこれほどの機能を詰め込んだものだ。さらに、地下には銀座線やら走っている。このすき間のない日本橋界隈の首都高を3千億円かけて地中化する計画があるそうだ。日本の建設技術はすごいものだ。

これが実現すれば日本橋の歴史的威儀の回復と東京の空が見られることとなる。



そのまんま 昼休みの建設工業新聞は、密かな楽しみの一つである。県北の記事が載るとワクワクする。先日、軽米町の記事が出ていた。その中に「町道みそろばし竹谷袋線」と「町道参勤街道線」という路線が載っていた。そのまんまなのだが、なんとも趣のある昔の匂いのする命名である。一度着物を着て歩いてみたいものだ。

編集後記 今回168号!あれ?12で割れる数字だな…と思い、割ってみたら丸14年経ったことがわかりました。これを創刊した頃はまだ10歳だったんだな…(笑)
長いご愛読いただきまして誠にありがとうございます。目指せ!1000号!(苦笑)



榮
誉

第168号

平成30年

6月

フクタニユース

発行



5月は各団体とも総会のシーズンでした。今年はこの中で岩手県採石工業組合から小井田進さんが、岩手県産業廃棄物協会から山口美歌さんが、共に永年勤続により表彰されました。年月だけではなく着実に成長し、貢献していただいた賜物であり、改めてその功績を讃えたいと思ひます。

また、岩手県採石工業組合の理事として業界を先導してこられた中田会長が理事を退任され、中田社長が新しく理事(二戸支部長)に就任しました。業界に新しいエネルギーを注入していく

~ 破碎を考える ~

『破碎』とは、粉々に碎けること。また、粉々に碎くこと。(デジタル大辞泉より)とある。破碎は原則不可逆であり、再び元の状態に戻れない。

このことは碎石業にとって大いに悩ましい。欲しくないもの(売れないもの)が発生しても手のほどこしようがないのだ。欲しくないものを発生させない破碎技術があったらいいのにと思うのだ。



~ 睡眠不足 ~



日中は汗ばむくらいの初夏の陽気が続きますが、いかがお過ごしでしょうか?夜長も寝苦しい季節となりますが、体調を崩さず乗り切りたいものです。

さて、掲題の「睡眠不足」について国土交通省より「貨物自動車運送事業輸送安全規則の解釈及び運用についての一部改正」の通達が発出されました。昨今の長時間労働問題や、睡眠不足に起因する事故防止対策を強化する為、点呼時の記録事項として、「睡眠不足の状況」が追加になります。今まででは、健康状態の良否(疾病・疲労)での判断でしたが、これに睡眠不足を加筆し、管理者の判断及び、ドライバーの申し出により乗務の良否が決まる事になります。今回の改正点でのポイントは、「管理者及びドライバーからの自己申告」により判断される点です。休息時間及び、睡眠時間等の「一定の基準」が明確に設けられた訳では無く、あくまで対面点呼時の確認までで留まっており、仮に乗務不可能と判断された場合は「交代運転者を適宜配置する事」となっていますが、中小零細企業の多い運輸業界にあってはなかなか難しい問題となりそうです。

施行日は平成30年6月1日。この新聞が皆様に届く頃には、毎朝ドライバーとの「にらめっこ」が日常となっていることでしょう。